



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2015.11.10 第1487号

大会 特集号

労働条件の改善・組織拡大に全力

= 政治課題の闘い、選挙の取り組みも強化 =

第71回定期地方大会 盛岡・愛真館



留場・田中議長団で進行

大会は、13時過ぎに佐々木政治執行委員長長の開会挨拶で始まり、代議員38人中37人、地方本部役員の出席を確認し、大会が成立していることを宣言。議長に留場義継代議員(宮古地域分会)、副議長に田中聡代議員(青森電気分会)を選出、代表し留場議長から就任の挨拶を受け議事に入った。

地方本部は、第71回定期地方大会を10月9日・10日に盛岡市つなぎ温泉・愛真館で開催した。大会では、職場労働条件の改善、組織の拡大、エルダー社員、来春開業予定の北海道新幹線に伴う青森地区職場の縮小・廃止問題などで15人が発言し議論が行われた。

そして向かう1年間は、組織拡大はもとより、正常な労使関係の確立、不公平感のない明るい職場づくり、労働条件改善と安全・安定輸送の確立、被災線区の早期の復興・復旧などの取り組みや国民生活を守る立場から様々な政治課題の解決に向けた闘い、来年の北上市議会議員選挙、参議院選挙へ全力を上げていくことを意思統一した。

佐々木委員長あいさつ (要旨)



統一自治体選挙、斎藤憲雄青森市議会議員、山崎道夫矢中町議会議員、木村幸弘岩手県議会議員の議席を得たが北上選挙区は残念な結果となった。選挙戦の経過と結果を冷静に受け止め、来年の北上市議会議員選挙、参議院選挙での推薦候補の必勝にむけ全力をあげて闘うことを訴える。

方針討論 職場の実態、組織の拡大 貨物、安法などで議論

2日目は8時30分再開。来賓の地方議員団団長の木村幸弘岩手県議会議員と日本共産党岩手県委員会の斎藤信副委員長から挨拶を受け、機関紙コンクール表彰、盛岡国労会館の報告があり経過と方針の討論に入った。討論では15人が発言(要旨は別記)、中間答弁と書記長集約が行われ、方針を拍手で採決し確立。次に小林良宏副委員長から2014年度決算報告、鈴木清正会計監査員の監査報告で決算を承認。引き続き組織検討委員会答申を提案、承認され、規約の一部改正を席代議員37人全員の賛成で承認。2015年度の予算案提案・承認、組織検討委員会の設置と進み昼食休憩に入った。

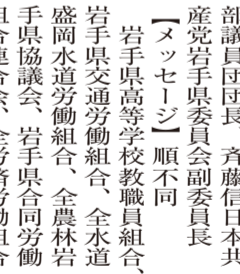
来賓・メッセージ



藤沢大平和環境岩手県センター事務局次長



細川光正社会民主党岩手県連合幹事長



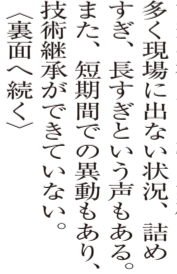
宮崎浩則東日本本部執行副委員長



藤沢大平和環境岩手県センター事務局次長



宮崎浩則東日本本部執行副委員長



宮崎浩則東日本本部執行副委員長

昨20代のころ、知り合いの店長が経営する小さな洋服屋で、偶然知り合った男がいた。彼は当時から、ひととき存在感がありアメリカン・カジュアルやアウトドアファッションをさり気なく着こなし、豊富な知識と屈託のない笑顔でいつも話題の中心になっていた。故・佐藤俊哉氏。彼との出会いは仕事でも労働組合でもなかった。「国鉄で働き国労組合員である」とお互いに知ったのは、後のことである。保線職場と電力職場、直接仕事で顔を合わせた記憶はないが、なぜか俊哉さんとの出会いは30年経った今も新鮮に覚えている。体調が優れず入院している話も聞いていたが、いつの日か笑い飛ばしながら復活してくれると信じていた。しかし、私たちの想いは届かず10月5日、帰らぬ人となってしまった。享年55歳。あまりにも早すぎる先輩の旅立ちに言葉を失った。棺の中の俊哉さんは、トレードマークのハンチング帽を小粋に被り、最後まで恰好がよかった。▼平和友好祭や中央行動など青年部時代は、よく俊哉さんと行動を共にした。独特な低音から発せられる声で、常にリーダーシップを発揮し先頭に立って活動していた姿が懐かしい。元気であれば職場でも仕事の中心となり若手社員の見本となっていただろう。10月9日、第71回定期地方大会が開催された日に俊哉さんの葬儀が執り行われた。▼俊哉さんの姿はなかったが「もともと本気になって取り組まなければ組織拡大は出来ないうら」と遠くから言われている気がする。俊哉さんが出来なかつた分も我々がしっかりと継承し、運動を展開して行かなければならない。(孝)

携して団体交渉を強化していく。移動や出向については、本人希望の尊重と公正・公平な取り扱いを求め、エルダーの雇用先を確保する運動と共に取り組んでいく。「JR山田線の三陸鉄道による運営」は、JR東日本と県や沿線4市町、三陸鉄道とで合意し、「JR山田線の鉄路復旧に関する基本合意および覚書」が締結され、「一括開業をJR東日本に求める」ことが決定した。少子高齢化問題やローカル線の維持・存続など、公共交通を維持していく取り組みを強めていく。一括和解以降、20代、30代の青年・女性が勇気をもって国労に加入した。彼らを孤立させず、仲間を増やすために全組合員が本気になって考えなければならぬ。国労運動は、正規・非正規やJR本体・関連会社を問わず、働く者すべての権利や労働条件、労働環境を守ることにある。第80回定期全国大会では、「名実ともにJR産別として次なる段階へ力強い歩みを進めることを今後の国労運動の基調とする」と確認した。組織のあり方などについて議論を開始し、国労組織と国労運動を若い世代に引継ぐ取り組みをお願いする。

方針討論(経過含む)では、15人の代議員(特別代議員含む)が発言した。要旨は次の通り。

- ◇ 小原茂俊代議員 (八戸工務分会) 若手社員、仕事が忙しく、詰め込められている状況を、ベテランがわかっていないのではないかと心配。仕事を通じて組織拡大を全体のものとしてほしい。
- ◇ エルダー社員、受け皿が少なく不安な声が多い。
- ◇ 岩崎毅代議員 (大湊地域分会) 青森県は原発関係施設が多い。子供、青森を守るため、全国の原発運動、戦争法反対運動と一体で闘う取り組みの強化が大切だ。
- ◇ 近藤信博代議員 (盛岡駅連合分会) エルダー社員、65歳までは代議員になれる事を確認したい。同時にエルダー学習会も開催してほしい。
- ◇ エルダー社員は病欠制度など、仕事をしなくてもできるものとしてほしい。
- ◇ 千葉博季代議員 (一関工務分会) 退職者が多く出ている現実の中、分会運営も厳しくなっている。一関地区の統合地域分会も考えてほしい。
- ◇ 大平四郎特別代議員 (工務協議会代表) (メッセージ) 順不同 岩手県高等学校教職員組合、岩手県交通労働組合、全水道盛岡水道労働組合、全農林岩手県協議会、岩手県同労働組合連合会、全労務労働組合盛岡支部、全日本運輸産業労働組合岩手県連合会、国労関係(秋田・仙台・新潟・高崎・水戸・千葉・東京・長野地方本部)



「左から淡路、小林、阿部、佐々木、沢田、菊池、及川、鈴木、小笠原の新役員」

地方役員改選

佐々木委員長はじめ 新役員9人を選出

佐々木政志・山川治氏が退任

今大会は、地方役員改選期であり、佐々木政志委員長、山川治氏、川治計監査員が退任した。新たに佐々木力執行委員長以下、次の新役員が選出された。役員の任期は2年。

- 執行委員長 (専従) 佐々木 力 (再任)
- 執行副委員長 (盛岡保健技術センター) 小林 良宏 (再任)
- 執行副委員長 (盛岡保健技術センター) 阿部 一久 (新任)
- 書記長 (専従) 沢田 光広 (再任)
- 執行委員 (北上新幹線保健技術センター) 菊池 要悦 (再任)
- 執行委員 (盛岡駅) 及川 孝 (再任)
- 会計監査員 (盛岡電力技術センター) 小笠原 勝豊 (再任)
- 監査員 (鹿角花輪駅) 鈴木 清正 (再任)
- 監査員 (北上駅) 淡路 明則 (新任)
- 監査員 (八戸新幹線保健技術センター)



千葉博季代議員 (一関工務分会)



八重樫俊昭代議員 (盛岡電気分会)



小原典昭代議員 (青森駅連合分会)

〔表面から続く〕
◎山山孝代議員 (北上工務分会)
▽昨年加入した若手が脱退、集会や学習会などが大切だと反省している。今後も若手とは繋がりを持っていく。
◎佐々木喜一代議員 (北上工務分会)
▽退職者が多く、若手はすぐ他職場へ異動。業務が増え人数が足りない。職場はきつい。▽P会社は人員不足で労働条件がきつい、労働条件改善と受注能力の強化も大切だ。
▽安部法反対の闘い、地方では盛り上がり欠けていたのではないかと、今後も闘い続けて行きたい。
◎工藤達二代議員 (青森施設分会)

▽退職者への本部からの感謝状と記念品、分会のろう会に届かず渡せない場合は、本人に届けてほしい。
▽組織拡大、模索し議論し進めて行きたい。
◎八重樫俊昭代議員 (盛岡電気分会)
▽機関紙の発行に努力している。また、春闘時には新規採用者国労加入の呼び掛けを掲示板に掲示した。インパクトがあった。第2段は大会前にメンテナンス体制の仕切りを掲示した。第3弾も思案中。
▽助役の組合員化は、仕事上弊害が多い。国労の考えは。
◎小原典昭代議員 (青森駅連合分会)
▽多くのエルダー希望者がいる。本人へ提示が遅く1ヶ月

前の人も、ライブプラン上も大変だ。職場に配属され、希望の条件と合わず退職する人もいる。事前の把握が大切だ。
▽エリア異動を希望しても駄目と言われている人がいる。本人が希望しても叶わず退職した組合員もいる。制度あるのになぜ駄目なのか。
▽北海道新幹線開業に伴う情報

報はシークレット、青森地区は不安が多くある。アンテナ高く情報を発信してほしい。
◎成田芳隆代議員 (青森施設分会)
▽エルダー制度があるのに職場がないのが理解できない。青い森鉄道もプロパー化を目指し出向者を受け入れられない状況になる。エルダー職場の確保に全力をあげてほしい。
◎野田茂志代議員 (八戸貨物分会)

確認し連絡する。
◎技術継承の問題は大きな課題、職能別協議会とも相談し、会社に今後も提起していく。
◎若手社員の脱退、残念だが成果と課題をしっかりとつかみ今後に繋いでいく。
◎P会社の人材育成などしっかりと会社に対応を求めよう。
◎エルダー社員の病欠問題は、

▽多くの仲間が遠距離通勤で、今後も希望地に戻す闘いを進めてほしい。
▽貨物会社は賃金、諸手当の改善で他社との格差が大きい。貨物のストライキと客貨一体の闘いを進めてほしい。
◎佐藤英雄特別代議員 (運輸協議会代表)
▽検修合理化実施から3年。安全輸送、労働条件、出向者の問題、職場の要求を我々が取り上げ闘い、改善を図っていく。
▽盛岡の国労手帳に綱領と解説を入れてほしい。
▽安部法廃案にむけた闘いの強化を続けて行こう。
◎石川博勝代議員 (盛岡貨物分会)

▽安部法反対の闘い、地方でも団体実行委員会方式で開催し、国労としても集会には参加しているが検証は大切。
◎綱領の国労手帳への掲載は、議論していく。
◎掲示板の活用は全体でもっと進めてほしい。
◎退職者への感謝状などの手配はできるだけ対応してほしい。

◎組織拡大、グループ会社・P会社の組織化も大切になる。
◎助役の組合員化の問題は、東日本本部に要請していく。
◎エリア異動問題、制度の公平・公正な運用を求めて行く。
◎北海道新幹線開業問題、情報が多く不安と思うが、支社も分り次第出すと言っている。しっかりと取り組む。

◎貨物会社の遠距離通勤、今後も解消に取り組む。
◎貨物分会のストライキでの闘いの要求、本部には要請文は上げている。本部の判断になる。春闘時の貨物との交流会などは今後も続ける。
◎メールでの分会へ要請も考えるが、基本的には文書を考えている。

執行部による中間答弁

北海道新幹線の開業問題もあり、本社・支社にも社員に不安の残らないよう要請している。今後もしっかり取り組んでいく。
◎P会社の人材育成などしっかりと会社に対応を求めよう。
◎エルダー社員の病欠問題は、

確認し連絡する。
◎技術継承の問題は大きな課題、職能別協議会とも相談し、会社に今後も提起していく。
◎若手社員の脱退、残念だが成果と課題をしっかりとつかみ今後に繋いでいく。
◎P会社の人材育成などしっかりと会社に対応を求めよう。
◎エルダー社員の病欠問題は、

▽多くの仲間が遠距離通勤で、今後も希望地に戻す闘いを進めてほしい。
▽貨物会社は賃金、諸手当の改善で他社との格差が大きい。貨物のストライキと客貨一体の闘いを進めてほしい。
◎佐藤英雄特別代議員 (運輸協議会代表)
▽検修合理化実施から3年。安全輸送、労働条件、出向者の問題、職場の要求を我々が取り上げ闘い、改善を図っていく。
▽盛岡の国労手帳に綱領と解説を入れてほしい。
▽安部法廃案にむけた闘いの強化を続けて行こう。
◎石川博勝代議員 (盛岡貨物分会)

▽安部法反対の闘い、地方でも団体実行委員会方式で開催し、国労としても集会には参加しているが検証は大切。
◎綱領の国労手帳への掲載は、議論していく。
◎掲示板の活用は全体でもっと進めてほしい。
◎退職者への感謝状などの手配はできるだけ対応してほしい。

◎貨物会社の遠距離通勤、今後も解消に取り組む。
◎貨物分会のストライキでの闘いの要求、本部には要請文は上げている。本部の判断になる。春闘時の貨物との交流会などは今後も続ける。
◎メールでの分会へ要請も考えるが、基本的には文書を考えている。

選挙への謝辞と活動報告

議員団6人が参加



地方議員団の写真左から星敦子北上市議会議員、山崎道夫矢町町議会議員、阿部一男花巻市議会議員、久保孝喜前岩手県議会議員、斎藤憲雄青森市議会議員が大会に参加、議会活動の報告や今年の統一自治体選挙への取り組みのお礼と今後の活動の決意などを述べた。なお、木村幸弘県議会議員は、議会の都合で2日目の最初に挨拶を受けた。千葉信吉一関市議会議員は、議員視察のため欠席。

拡大の運動を大きな流れに

平和・民主主義を守る闘いに全力



沢田書記長 集約(要旨)

自信と力を与え、さらに新しい仲間を国労加入にむけて意欲統一を図ってきた。
大会では、組織拡大に全力をあげることを確認した。組織強化拡大対策会議を開き、取り組みの交流を図り組織強化・拡大の運動を大きな流れにし、この1年を勝負の年と位置付け取り組んでいく。
「一括解除以降の職場の取り組みと合理化反対、労働条件改善、安全・安定輸送確立の

来春闘は、賃上げ・雇用の安定・格差と貧困の是正、社会保障制度の拡充や「戦争法」廃止、護憲と平和、貨物会社が進める低賃金施策を許さずペアを求め取り組む。
「公共交通を守る闘いと被災線区の早期復旧に向けた取り組み」

「平和と民主主義を守る闘いの強化について」
集团的自衛権を行使できる「戦争法」が成立した。「憲法違反」と指摘され、国民の大多数が反対する中、強行成立させた安倍自公政権を許さず、私たちの声を代弁する議員として、来年の北上市議会議員選挙での星敦子さんの議席確保と参議院選挙で推薦候補の当選を勝ち取りたい。
憲法・民主主義擁護、集团的自衛権行使と武器輸出反対、脱原発とエネルギー政策の転換、反TPP、雇用と社会保険の拡充などの課題を政党・共闘組織・市民団体などとの連携を深め、共闘の軸となるナショナルセンターとの関係についても議論を深めていく。

- ◎最優秀賞 「可動橋」 (青森駅連合分会)
- ◎優秀賞 「電気もりもり」 (盛岡電気分会)
- ◎優秀賞 「けんまい」 (北上駅連合分会)

2015年度 地方委員 13人を選出

- ▽盛岡支部 8人
- 近藤 信博 (盛岡駅連合分会)
- 伊藤 淳 (盛岡運輸分会)
- 三浦 市朗 (盛岡施設分会)
- 佐藤 弦悦 (一戸地域分会)
- 中村 弘之 (北上駅連合分会)
- 島山 孝 (北上工務分会)
- 吉田 一久 (一関運輸分会)
- 森田 薫 (釜石地域分会)
- ▽青森支部 8人
- 小原 典昭 (青森駅連合分会)
- 関 孝 (青森運輸分会)
- 田村 公治 (青森貨物分会)
- 岩崎 毅 (大湊地域分会)
- 小笠原茂俊 (八戸工務分会)

「可動橋」が 最優秀賞

2014年度の機関紙コンクール表彰も行われた。応募作品は、青森駅連合分会「可動橋」、青森施設分会「じよっぱり」、青森運輸分会「だんけつ・分会情報」、盛岡電気分会「電気もりもり」、盛岡貨物分会「Ren Kettu」、盛岡地区協議会「盛岡地区協便り」、北上駅連合分会「けんまい」、一関運輸分会「国労関連ニュース」の8作品。